

WEB会議を活用した 令和4年度 球磨川水系 水防災意識社会再構築会議 を開催！



日時：令和4年6月3日（金）13:00～14:30
場所：WEB会議（各会場）

出水期に備える球磨川流域連絡会議

（議事要旨）

- 令和4年度の気象概況や線状降水帯予測等に関する説明を行い、気象に関する情報を共有しました。
- 洪水予報の運用変更や防災ポータルサイトの改良等に関する説明を行い、水防災に関する情報を共有しました。
- 規約の改正（熊本県を事務局に追加することやワーキンググループの設置）について了承いただきました。
- 取組方針の現状や課題、取組に関するフォローアップについて了承いただきました。
- 出水期までの取組状況について関係機関より説明し、参加者間で情報共有を行いました。

この会議をふまえ、球磨川流域の関係機関で連携して出水期に備えます。

【問合せ先】

国土交通省 九州地方整備局 八代河川国道事務所 調査課
〒866-0831 八代市萩原町1丁目708-2、電話0965-32-4135

取組内容や意見等の概要



八代市長

自助の取組として防災情報を届ける防災アプリ等の登録支援、マイタイムライン等の普及・啓発活動を行った。共助の取組として登録防災士の募集、自主運営避難所登録制度を創設し、坂本地区で先行実施。来年度以降、他の地区へ展開したい。



人吉市長

視覚的に防災行動を促すライティングアラートシステムや安全に避難するためのツールとして人吉市防災ポータルサイトの運用を開始した。



錦町長

防災行政情報通信システム等の整理（あいねっと放送、LINE、広報誌等）、災害に備えた土嚢の整備、防災会議を実施した。



あさぎり町長

県豪雨対応訓練に災対本部編成で参加し状況判断能力を向上、危機管理懇談会を実施し地域防災計画に対する意見を聴取、地域防災計画にタイムラインを記載し防災会議において認識を共有



多良木町長

住民に自主避難の意識を高めてもらうため、地区防災計画の作成支援研修会を実施し、各地区の防災計画を作成している。令和4年度中の全地区の防災計画策定を目指している。



水上村長

S N Sを活用した情報発信として、聞き逃しを防止するため情報を文字や音声等で配信して保存されるスマートフォンアプリや、ホームページ情報提供のシステムを構築する。



湯前町長

防災士の資格習得を増やし、取得した町民の防災意識を高め、町として財政的な支援、自主な防災活動への支援を行い、防災リーダーが活動しやすい環境整備に取り組む。



五木村長

マイタイムラインシートを全戸に配布した。デジタル防災行政無線システムの戸別受信機を本年度中に全戸に設置する。要支援者リストを作成し、消防団分団長会議で情報共有する。



山江村長

リアルハザードマップ山江村を設置した。LINE WORKSを使った現地状況の報告・共有をしている。流域治水に関する6つのプロジェクトを、ポータルサイトで発信しながら進めている。



球磨村長

村民防災ブロック会議で防災意識を高める取組を実施した。そのほか、広域施設との災害協定や災害からの復旧・復興の様子を伝えるアーカイブ事業を立ち上げた。